〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

關稅休日案受諾
背反國には斷乎處置
關稅休日案受諾に際しての
帝國政府の態度

（東京二十一日發國通）帝國政府は關稅休日決定を正式に受諾するに當り右決議の有效期間中加盟國及他の國にて決議に違反し又精神に背反の行爲あれば帝國政府も當該國に國際的通商上の利益保持に必要な疑意的措置をなす權利を留保することとなつた

休日案審議の
樞府委員會近く成立
委員長に平沼副議長任命か

（東京廿一日發國通）樞府に於ては關稅休日案審議に對し、大體九名の『委員』を舉げ委員長は案の重大性に鑑み、平沼副議長が當ることになる模樣だが、同案に對して樞府として關稅休日案を既に經濟會議の準備交渉で調印した八ケ國の中で參加してゐないのは日本だけだから、急速に此の案に對する態度を決定せねばならぬ故に速かに審議する方針なるも此の案は各國とも勝手な留保を附して居り、印度の如きは關稅を引上げた後參加してゐるのだから、我國としては殆んと空文に近い留保をなすと同時に此時期に於て政府が承認をなし得ぬとしてゐるから『同案』に關する審査委員會に於ては右の諸點に關して痛烈なる質問をなすは勿論留保條項に就ては政府案に不備があれば徹底的に修正の模樣である

關稅休日に對する
外務側の腹案

（東京廿一日發國通）關稅休日につき外務當局は左の腹案を有してゐる

一、經濟會議で討議の場合は石井全權より左の聲明をする即ち帝國關稅は明治四十二年制定に係り各國より低率なる故一率引下げの受諾はなし得ず先づ各國が帝國の程度に引下げる事を主張し各國で右の措置を講じた後一定率の引下げを考慮する

一、國內緊急對策とし、現稅の全般的引下げを考究する事

一、復稅制度を制定して輸入稅に關し品物別に三種か、四種稅率を制定し相手國の差別的待遇に對し防衛の措置を執る

經濟會議と
米代表部の態度

（東京二十一日發國通）ロンドンの帝國代表部より二十日外務省へ達せる報告によれば米代表部の經濟會議の諸議題に對する態度は次の如くである

一、米國政府は關稅の一率一割引下げは必ずしも最後まで固執するものでなく單に經濟委員會の一議題として採用され各國代表の適宜なる研究と考慮を得れば良いものである

一、關稅引下げ協定は各國間に多邊的折衝を行ふよりも所定の二國間に行ふべきものと考へてゐる

一、米政府は通商條約に無條件最惠國待遇を許容する事に贊成するものだが之が實行の爲には大國間に充分に研究される事を要するとなしてゐる

關稅休日御諮詢案
昨日樞府に御下渡さる

（東京廿一日發國通）關稅休日御諮詢案は昨日樞府に御下渡され、目下樞府に於て愼重審議中である

伊藤述史氏
經濟委員會で演說

（ロンドン廿日發國通）本日の經濟委員會午後の會議で我が伊藤述史氏は滿場の拍手を受けて演說し多數の委員は單に生產の組織化のみに言及されたが、日本は貿易と販賣の組織化に重點を置き輸出國側でも貿易の組織化を行ふ必要がある旨力說した

門野顧問奔走

（ロンドン二十日發國通）二十日門野顧問は植民相カンリフエリスター、商相ランシマン兩氏と會見したその結果ランシマン氏は今明日中に日英民間協議會に關する英國側の回答を發することになる模樣で、英國政府として協議會が一刻も早く開始されることを望んでゐる旨を告げた、尙ほ確實なる筋からの情報によればランシマン商相の回答は寧ろ抽象的且漠然たるものであつて具體的問題は協議會そのものに俟ちたい意向を表明してゐると、更に英國政府は協議會に英政府の代表者をオブザーヴァーとして出席せしめたき意向であると

英米クロス
暫定比率決定まで
日米爲替の安定は實行不可能
―我代表部言明―

（ロンドン二十日發國通）英、米、佛爲替休日案と併行して日米爲替の安定の商議が進められつつあるとの說に關し日本代表部では英米クロスの暫定比率が決定を見るまでは日米爲替の安定は實行不可能である旨言明した

關稅休日案に
留保付で參加
帝國政府の態度決定

（東京廿一日發國通）關稅休日案參加に關し外務、大藏兩當局協議の結果、右決議成立の際松平大使より留保付で主義上參加を表明することに決定した

江防艦隊の
大同、利民の進水式
廿七日ハルピン埠頭で擧行

滿洲國江防艦隊が精銳を誇る大同、利民兩砲艦は過般來ハルピン東北造船所で組立中の處此程竣成し愈々來る二十七日閏端午節句の佳日をトしハルピン埠頭に於て進水式を擧行することに決定した、式は午前十時及び十時半の二回に亘り大同、利民の順で行はれ型の如く艦首にシャンペン酒を注ぎ銀のハンマーを以てロープを切り、兩砲艦がするすると滑つてシークな艦體を松花江上に浮べる迄の勇壯極まりなき式であるが、滿洲國からは執政名代として金侍從、張軍政部總長、王次長、多田最高顧問、伊藤顧問、張軍需司長范艦政課長列席、日本側からは代表として小林駐滿海軍司令官列席しハルピン埠頭未曾有の盛觀が豫想されてゐる尙兩砲艦は進水後機を見て松花江及び黑龍江を溯江し大黑河迄の處女航海の途に上る筈である

伍堂昭和製鋼所
社長上京

（大連二十一日發國通）昭和製鋼社長伍堂、常務富永兩氏は二十一日うらる丸で上京したが船中左の如く語る

今回の上京は機械購入と社業の大體方針が決定したので、中央との打合せのため一ケ月滯京の豫定である

各部將大兵を擁し
平津地方樂觀は尙早
―韓復渠濟南で時局を語る―

（濟南廿一日發國通）韓復渠は昨夜七時特別列車で天津に下車せず、直行で歸濟したが今回の北平行きの感想として日支停戰、察哈爾問題解決に依つて華北の時局は暫らく平定した樣であるが、前途を想へば樂觀は許されない、殊に河北に集まつた多數の軍隊は抗日戰に破れ乍らも其の兵數を擴張して個人の勢力を張ることに汲々としてゐるのは遺憾である、山東省の善政は各方面で賞贊してゐるが一省がよく治まつても全般は斯く亂れては時局を救ふことは出來ぬ云々と語つて平津地方が尙は內部的に危機を孕んでゐることを諷してゐる

救國會員の不
良分子處分に
呑沒懲治法を公布
京津の不良分子行方を晦す

（北平二十一日發國通）今回の抗日戰に支那各地で募集した義捐金や救國稅は多くは救國會員の爲に濫費されて實際前線の將士や罹災民の手に入つたのは恐らく其の半額にも足らない事が判明したので南京政府よりこの不良分子を處分する爲救國金呑沒懲治法令を公布する事になり、目下起草中であり此事華北に傳へられるや既に傷持つ京津地方の救國會の連中は續々と姿を晦してゐる

支那獨逸間の
新航空路
七月一日から飛行を開始

（南京二十一日發國通）支那とドイツ間の航空路は來る七月一日から開始され全空路を三段に分け、第一段は南京から新疆の塔城までを支那の飛行機で、第二段は塔城からモスクワまで、露國の飛行機で第三段はモスクワからベルリンまでドイツの飛行機で連絡することとなつたと發表してゐる

北平市長更迭

（北平二十一日發國通）北平新舊市長の交替は昨日午前九時市政府大禮堂で職員百名を集めて行はれ、前市長周大文に對し職員一同より北平に日本軍を入れなかつた業績を感謝して式を終つたが新市長袁良は當分公安局長も兼任することとなつた

于學忠語る
黃、何との決議內容を

（天津二十一日發國通）昨夜歸津した于學忠は北平に於ける黃郛、何應欽との決議內容に就て左の如く語る

李際春軍の改編は停戰協定に束縛されて討伐し得ないから已むを得ず行ふのであるが軍は一個軍團にせよと要求してゐるが當方では最大限度一個旅團以上には許さぬ方針だ接收地域の特殊警察は始め一萬人ときめてあつたが經費がないので各縣の現に在る警察と民團を整理して之に當る事になつた戰區の免稅は本年中免除する事となり救濟金は政府から二千萬元出す事に決定してゐるので早急支出方を要求してゐるが何日になるやらわからない、云々

非常時
國難を克服
大日本の建設に邁進せよ
海軍中將 上泉德彌

□現下の日本は天が國民に絕好の試鍊臥薪嘗膽を與へた絕好の機會である、大日本の建設は大國民の教育が其の根本となることは謂ふ迄もないが、神武天皇建都の詔勅に「六合を兼ねて都を開き八紘を掩ひて宇と爲す」と仰せられた世界平和の大精神を以て根本とせねばならぬのであつて、具體的には先人の恩に感ずること、世界的知識の涵養、科學的知識の普及、尙武心の養成を我々は實行努力せねばならぬと思ふ。就中尙武心の養成は剛健濶達にして堅忍勤勉なる國民性を培養するに最も重要な事柄である。即ち戰時平時を問はず尙武心の肝要なることは、今日世界の大勢を展望すれば明白な斷定を下し得るのであつて、必ずしも軍事上に限られてゐるのではなく平素我々の日常生活に偶發する障碍を遺憾なく征服し、國家社會の進運に大いなる貢献を果すことが出來るからである、從つて武道に優れるといふよりも精神の鍛鍊と云はねばならぬ、此の魂に磨を掛けてこそ始めて世界に雄飛する大國民の素質が完成するのである

□大日本の建設には對外の大方針を決定すると共に、內に於ては一切の不平、爭鬪の原因を消滅させ眞に君民一體、擧國一致の政治を實現する樣に努めねばならぬ。近時切迫の急を告げてゐる土地問題、農村問題、勞働問題、朝鮮問題、同胞差別問題等は、悉く此の大精神に照して不偏不黨の立場に據つて解決せねばならぬ、徒らに西洋直譯理論を迎合移植して日本特有の長所を抹殺して之が處置手段に出ずるが如きは、天人俱に許すことの出來ない國賊の所爲である、故に我々は明治維新の大精神である五ケ條の御誓文を奉じて、大國民的精神を鼓舞作興してゆかねばならない

□世間では日本現在の國難を說き、重大な時局を叫んでゐるが、我々は此の機に當つて之を打開せねばならないことは勿論であるけれども、單に國難を切り拔けた丈けでは決して永遠の方策ではない、目下の時局を切り拔けると同時に、大日本の建設と謂ふ事に思を致さねば、國步を進めて世界を抑壓出來ないのである

□斯る國家意識を旺盛にして國礎を築き上げてゆくには、何うしても男子許りでなく婦人の力にも俟たねばならぬことは今更贅言を要しない、事變以來婦人の國家的奉仕の一つである戰死傷者遺族の慰問や援助或は篤志看護婦としての活動、或は慰問品の送付等誠に結構であるが、動もすれば一時的の弊ある世評を超越して、我輩の唱導する大國民の教育、即ち先人の恩に感じ世界的知識の涵養、科學的知識の普及、尙武心の養成、―此の四大綱目を各家庭で實行奬勵して以て一般世間に及したいものである　所謂「德孤ならず必ず隣有り」で、現在緊急の仕事に活動してゐることを以て能事終れりとせず、更に進んで國家百年の大計に思を致すことこそ、眞に時局に處する道であらうと思ふのである

韓省長の辭任
正式發令さる

十九日の國務院會議で黑龍江省長韓雲階の職を免じ、財政部次長孫其昌を後任に任命するの件を可決、本日執政の裁下を得て直に發令された

新任支那公使館付武官柴山中佐
北平へ赴く

（東京廿日發國通）在支那公使館付武官として北平駐在を命ぜられた前參謀本部支那班長柴山兼四郎中佐は廿日午後一時東京發赴任の途に就いたが、途中長崎より上海に立寄り有吉公使と種々打合せの上北平へ赴く筈

孫殿英の青海入りは
馬麟に大恐慌

（南京廿一日發國通）孫殿英を青海の屯墾督辦に任命したとの報が青海に達するや省首席馬麟は多數の兵を連れて入城されては大變とあつて、各民衆團體を動かして孫軍の入京反對の聲を高めんとしつゝあり一方孫殿英は青海の田舍に追ひ込まれることは嫌つてゐるから結局、孫の青海入りは中止されるであらうと見られてゐる

中銀實業局獨立
庶民金融機關として活躍

滿洲中央銀行實業局を分離獨立して大興公司を設立すべく準備を整へて居たが、愈々實業部の設立認可を得たので廿日中銀に於て創立總會を開催董事長に吉林中銀分行總經理王富海氏、筆頭董事長現中銀實業局長中西龍三郎氏を選任した

新會社は資本金六百萬圓全額拂込で、既報の如く糧業、林業、製粉業等を除き、實業局所管業務たる當舖業を中心に專ら庶民金融機關として活躍せんとするもので、兩三日中に北大街舊中銀紙幣交換所跡に移轉、營業開始の豫定である

新京特別市の
租稅徵收
七月一日より國幣建に統一

新京特別市の租稅徵收は從來國幣、吉大洋、哈大洋等不統一のままであつたが、來る七月一日新會計年度より國幣を以て統一實行に決定した、該案によれば、現在の哈大洋、吉大洋によつて居た租稅は所定換算率を以て國幣に換算、之を基準として新租稅額の決定を見るものである

北鐵回收交渉隨員
沈瑞麟、烏澤聲二氏着京

北鐵問題交渉の爲東京に赴く滿洲國側隨員北鐵理事沈瑞麟及督辦公署參贊烏澤聲兩氏はハルピンより二十一日午後三時二十五分着京直ちに驛貴賓室に於て森北鐵科長と重要會議をなし、同四時三十分發列車にて渡日の途に上つた

橋本憲兵司令官歸京

飛行機にて佳木斯、富錦方面の警備狀態視察中の橋本憲兵司令官は副官帶同二十一日午後三時二十五分歸京した

東京、京城間電話
七月十五日より開通

（東京二十一日發國通）東京京城間電話連絡につき遞信省では目下釜山、京城間に搬送式裝置を急いでゐるが、來る二十五日頃は完成するので準備萬端も整ふ見込で來月十五日より東京、京城間は開通する事になつた

天氣と氣溫

二十一日の氣溫最高二十九度二、最低十三度七、二十二日は南東の風晴、驟雨模樣去らず

新京の警備隊 任滿ちて交替

新警備隊は今夕五時新京着 皆さま迎へませう

新京の治安を守る廣瀨部隊、山田常太少佐を隊長とする新京警備隊は今回ハルビン聯隊に復歸することとなり新たにチチハル松本部隊より〇隊が交替、本二十二日午後五時着京の豫定である

工事をいそぐ 貨物驛に變る新京驛

西漸する大新京の姿

膨張過程を急速に辿る國都新京の大玄關は時代の要求に迫られ、過般貨物列車引込線及貨物到着ホームの一大擴張を試みたが『更に』昭和九年度の予算を以て滿鐵本線の貨物到着線を一本、約二百五十メートルの入換線を一本、三十メートルの渡り線を一本增加し、この洪水の如く押寄せる貨物を整理するに決した模樣である、北鐵買收により豫想さるゝ列車運轉系統の變化、及運轉回數の增加等必然的におこる驛ホームの狹隘等より見て、この新京驛の貨物列車到着線の充實は將來現在の新京驛を貨物專用驛にする前提と見られ、新に出來る新京南驛を旅客專用驛となし、暫行的に『現在』の新京驛にても旅客を取扱ふ事になるものと見られ各方面注目の的となつてゐる

旅大海外研究員 大日方助教授歸任

〔大連廿一日發國通〕獨逸留學中の旅順工科大學助教授大日方一司氏は二年餘の研究を終へて二十一日入港のはるびん丸で歸任したが、船中左の如く語る

一昨年三月出發以來主として獨逸ベルリンのカイザーウイルヘルム研究所で金屬原子配列の研究をしました最近の獨逸政情は私にはよく判らないし何とも云へませんが、ナチスの勢力は非常なもので私の師匠シユミツド博士もナチスの壓迫を受けて端西に逃避した程で獨逸の國內の凡ゆる製產的な機關は彈壓を受けて衰亡の道を辿りつゝあります

山村大尉 廿四日出發赴任

新京憲兵隊本部特高課長として在任一年二ケ月その間武藤大使暗殺陰謀犯人の逮捕〇〇問題その他種々難件に處し敏腕を謳はれた山村大尉は此度奉天附屬地憲兵分隊長に榮轉に決したが愈々二十四日午前九時新京發赴任する事となつた

商業學校の野外教練

新京商業學校では二十、廿一日の兩日に亘つて西公園を中心に第一學年の野外教練を行ひ質實剛健なる氣風の養成に努めてゐるが、二十日は服裝檢査、幕舍構築、飯盒炊事等をなし二十一日は學校、西公園、杏花村に於て行軍、疎教練（對抗演習）步哨、（監視法協同動作報告要領）等を行ひ校門前の閱兵分列式を以て二日間の教練を終了した

中等校地歷科一部 間島方面視察 七月十三日に出發

滿鐵中等教育研究會地歷科第一部では來るべき暑中休暇を利用して間島北鮮方面の視察旅行を行ふ事となり本年の當番に當る新京商業學校では各地の宿泊料、汽車賃、自動車賃、見學場所、日程プログラム等を大童となつて萬端の世話に奔走してゐる、日數は約八日間で七月十三日午前八時三十分發列車で出發敦化、延吉、琿春を經て北鮮の雄基、羅津、清津、會寧に至り上三峯、龍井村、朝陽川を廻つて歸京の豫定である

滿鐵佐藤氏を埋沒した犯人判る

事變以來二年を經過して 憲兵分隊の殊勳

事變直後敗殘兵に襲擊され行方不明となつた滿鐵社員佐藤忠氏に就いては滿鐵は懸賞金一萬圓を『提供』し、一方各方面の手を盡して搜査を續けて居たが、二年を經過した六月一日新京附屬地憲兵分隊の手で事件の端緒を得、事件は急轉直下解決した即ち滿洲事變勃發直後ハルビンより第三犬列車で新京經由赴連の途中敗殘兵のため遭難せる滿鐵社員佐藤忠氏については、守備隊及滿鐵が附屬地分隊指導の下に搜查したが、犯人は勿論、死体の所在地も判明せず、事件は迷宮入りの模樣となつた、然るに去る六月七日銃器密賣犯人の檢擧取調べにより事變勃發當初日本人一名が殺害せられ死体は長春縣江東店附近に埋沒せられたる事を確め、十一日に亘り米河子驛方面で搜査したが、埋沒犯人といふ丁萬昌（長春縣乾五海居住目下逃走中）の村民を取調の結果米河子驛より二里半張家燒鍋村烏海河岸で埋沒個所を發見、中村史に廿日小峰特務曹長、中村理事以下憲兵七名を派して現場を搜査した所埋沒個所より二間程下流の河底に人骨らしきものを發見、檢討の結果佐藤氏のものと裁斷されたのである

滿洲博の呼びもの 國・防・特・設・館

關東軍からも種々出品

來る七月二十三日より八月卅一日迄大連市に於て開催される滿洲大博覽會の特設館中に國防館を設置し時節柄諸種の最新式兵器を一般の觀覽に供し國民として我陸海軍の充實した兵器狀態の認識を深める爲に關東軍よりも種々出品する事となつたので其れが打合せの爲來京した國防館主任鍋島氏はその內容に付記者團に左の如く語つた

今回の滿博國防館は內地人より寧ろ滿洲人に見て戴きたい希望を有してゐる出品の最新式兵器は高射砲、聽音器を初め防毒ガスの器具、並に衞生材料、被服材料及種々の新式兵器の模型等で、關東軍よりは積極的援助を蒙る事になつてゐる同館の呼物としては大連市街が敵飛行機襲擊を受けこれが防禦の狀況の自動的なのを設け觀覽者の興を引く事になつてゐる、なほ去年大阪、金澤等で大喝采を得たものでタンク、裝甲列車高射砲等の實際的戰鬪狀況を自動的にパノラマ式で實演する特に內地人の觀覽を望むのは滿洲事變關係の記念品で國民として是非見ておく必要があると思ふ、これ以外に海軍の力は主として佐世保よりの出品で一部は旅順からも陳列されることになつてゐる

ハルビン飛行〇隊慰靈祭

〔ハルビン廿一日發國通〕ハルビン駐屯飛行〇隊の慰靈祭は二十日午前九時三十分よりハルビン郊外の飛行場で擧行され、式後二十二機は蒼空に亂舞し、パラシユートによる降下、爆彈投下、各種の高等飛行を行つて數千の觀衆をアツと云はせ盛大を極めた

兒童の頭にも 社會主義建設が反映

ソヴエイトの目新しい調査

ソヴエイトロシアの兒童教育中央委員會が、最近十五萬人に達する兒童の描いた繪畫を比較研究したところによれば大戰前の兒童と今日の兒童の間には興味の對象物が全然異り、殊に同國の社會主義的教育と社會主義的建設の姿が深く兒童の腦裡に刻まれてゐると發表した、それによれば戰前の兒童は鉛筆を與へると何よりも先づ家を描いたものであるが、最近の子供は家を問題にせなく機械がひどく好きになつた傾向があり、飛行機、汽船、飛行船、自動車といつたものを描き、電車の如きは既に時代遲れと見て餘り興味を呼ばない、兒童が機械の次に選ぶのは風車であり、人物家屋といつた順序であるが、子供の時代的進步が國家のそれを反映してゐるとて力強がつてゐる

凉味百パーセント 浴衣團扇の夏姿

さて今年の流行は?

浴衣に團扇扇子の夏姿―これからの暑さに扇と團扇は私達の生活と切り離すことは出來ない代物です、ところでこの扇や團扇には別段流行とかいふ新工夫といつたものがここ二三年ないやうに誰しも考へますが、それでも細い點では色々と凝つた趣向が現はれてゐます

今年の扇の新しい傾向としては昔風の紙扇が復活されて絹張の領域へ食ひ込んでゐる事です

ここで、若い人向の猛いものが現はれて來たことですが、何んと言つても全盛は矢張り支那風の絹張が占めてゐます絹張のものは骨の部分が短くなつて、布を張つた部分が昨年より多い目になつて來たがこれなどは實用に近づいたと言へませう大きさは變りなく骨數は三十間から五十間、親骨には骨を、小骨には殆ど竹が用ゐられてゐます

柄は寫生風の花を描いたものがまで、黑地に白であつさりした模樣が多く、ゴテゴテしたものよりも淡彩なものが流行となつてゐます、その他切り貼りの細工をして深みをみせたすかし風のもの、レースのものなど凝つたものも色々出來てゐます、團扇は以前の扇といつたものは廢れてしまつて、今では東京風と關西風の京團扇にはつきり分れてゐますが、東京風のものも年々少くなつて上方風の繪柄のものが多くなりました

型は卵型が主で、變り型としては半月型、角團扇などがそばれてゐますが、柄行は非常に洒脫なもの、墨繪などが大分歡迎されてゐます家庭用としては九色團扇が五色一組になつてゐるので、模樣に好き嫌ひがなくてよいといふ點から進物用などに用ゐられてゐます、一時流行した肉筆ものは近年印刷が精巧になつたために肉筆と余り見分けがつかなくなり、昔程もてはやされない風です、最後に扇は使つてゐる間に垢じみて本人は氣づかなくとも汚くさい匂がするようになるから、盛夏には出來れば各自好みの香水をしませて使ふことなど一寸した心掛が必要です

城內邦人の糞便汲取に

非難の聲高まる

新京城內居住邦人の糞便汲取は從來滿洲國市政公署が滿人側と同樣に汲取り、衞生費の負擔を申込んで來たがその際居住民はこれに反對し四月一日から糞便は居留民會で汲取ることになり既に實行してゐたが、最近居住邦人の增加で充分な汲取が出來ず傳染病發生期を控へ早くも居留民會に對し非難の聲が揚つてゐる

半年 一年 の拂込者に特殊割引を行ふ

拔目のない新京郵便局の簡易保險勸誘ぶり

新京郵便局では新京に於ける今日此の頃のボーナス景氣を利用し簡易保險掛金の拂込を誘引する意味に於て掛金半年分一時拂込前納者には半月分一年分前納者に對しては一ケ月分の割引を行ふから保險に入つてゐる者は此機を逸せず速に拂込まれたいと

前田滿鐵上海事務所長逝去

〔大連廿一日發國通〕滿鐵上海事務所長前田孝[illegible]氏は先般來チブスで療養中のところ二十日午後七時逝去した

サロンハト大擴張

祝町二丁目の食堂として有本氏の經營になる特急ハトは開店以來價格の低廉と出前の迅速で壓倒的人氣を一身に背負つてゐたが家屋の狹隘の爲め豫々擴張中であつた處此程いよ〳〵完成し名もゆかしきサロンハトと改名廿一日より華々しく開店したこのハトは新京には珍らしいカフエー待合のチヤンポン式で階下はあくまでたるいジヤヅと五色に輝くネオンサインで人戀う若人達の心を必ずキヤツチする美給仕のさゝやきと洗練されたサービスのホールの世界階上は新しい木の香漂ふ四疊半でしつとりと落付いた差向の樂園であり樂しい家庭の延長でもある料理も和洋お好に應じて調整し腕自慢の板場さんの庖丁の味は必ず粹人の滿足を買ふで

二十二日夜は納凉園休み

新京官民有志主催の在京將校招待宴は明二十二日午後七時からヤマトホテル納涼園で開催するが主客併せて四百數十名に上る盛大なもので同夜は一般の入園者を謝絕するさう

小倉醫院開業

新京滿鐵病院小兒科醫長として有名であつた小倉久雄氏は今回同病院を退き千鳥町二丁目一番地商業學校前に小兒科醫院を開業した、同氏は前橋の產で金澤高等學校を卒業進んで九洲醫科大學を卒へ九大病院で小兒科の大家伊東博士の下で研究を重ね、その手腕を認められ、朝鮮平安南道東二浦道立病院に小兒科醫長として招聘され、昭和四年新京滿鐵病院小兒科醫長に就任し奮鬪の結果現在迄院內外ともにその名をなし、今回個人で開業するに至つたものである

富田憲兵隊特高課長着任

新京憲兵隊特高課長富田憲兵大尉は二十一日午前八時滿鐵線で着任し各方面に挨拶廻りをした

けふ傷病兵內地へ

二十二日午後零時四十分發列車で新京衞戍病院收容中の傷病兵六名が內地轉療のため送還される

二十二日午後五時一分步兵第〇〇隊將校以下〇〇〇名が着京します、皆さま迎へませう

吉凶禍福

△新京錦町三丁目二九原田淸水氏五男渥さん十九日出生

△新京曙町二丁目三一內村方稻森芳彥氏長男英敏さん六日出生

△新京千鳥町二丁目一末光孝也さん二十日午前五時死去

野菜相場

新京市場小賣相場表 六月廿二日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	八 四	蓬蓮草	一一
サツマ芋	四 三	大[illegible]物	一〇
山芋	一〇 〇八	里芋	〇八
フキ芋內地	二〇 一五	赤芋內地	一五
蓮根	一六 一四	牛蒡	〇五 〇四
丸大根	〇六	白大根「大連」	〇八 〇六
玉葱	〇八 〇九	赤大根	〇六
生姜	二〇 一二	人參	二〇 三〇
ワサビ	五〇 六〇	ウド	三〇 二〇
玉菜	〇五 〇四	內地葱	一〇
馬鈴薯	〇三 〇二	カブラ大小	〇八 一〇
ユリ子	五〇 二五	水菜	〇八
セリ內地	一五	ミツ葉大小	二〇 〇五
春菊大連	〇三	ワケギ內地	〇五
林檎	一三 一〇	胡瓜內地	一二 〇五
		內地梨	二五 一八

陣中美談

再三突撃を敢行　遂に敵をして退却せしむ

歩兵第二十三聯隊第六中隊　陸軍歩兵伍長　水峯重雄

冷口攻撃中四三〇高地攻撃に當り山下小隊第三分隊長として部下を激勵しつゝ三方向よりする敵の縱射、斜射を冒して峻崖を攀登丹城に肉迫、漸く長城直前に達するや突撃を敢行せしも壘は堅く敵は動ずる所なし。茲に於て伍長は更に部下を叱咤激勵再三突撃を敢行し自ら先頭に立ちて敵陣に突入し手榴彈戰と白兵戰とを演じ以て之を占領す。其勇敢なる行動は小隊突撃成功の基因をなし大隊をして長城占領の目的を達せしめたり

倒れても　尚部下を激勵

歩兵第二十三聯隊第六中隊　陸軍歩兵上等兵　甲斐利男

冷口攻撃中四三〇高地攻撃に當り甲斐崎小隊第三分隊長として敵の猛射を冒して峻崖を攀登し長城に肉迫す、愈々長城直前に達するも壘は堅く敵兵は死守す、然れども之を意とすることなく部下を激勵卒先々頭に立ちて突入し群がる敵に手榴彈を投擲し、或は刺殺し以て長城の一角を占領するや敵の投ぜし手榴彈に依り負傷せるも屈する事なく部下を激勵して克く之を確保し以て大隊戰果を獲得し聯隊の進出を迅速ならしめたり

數回の夜襲を見事撃退

歩兵第二十三聯隊第七中隊　陸軍歩兵特務曹長　川崎榮之助

四月十日長城占領夜襲隊主力は冷口方面攻撃に協力し第七中隊は建昌營北方高地に進出して冷口方面より退却する敵の退路遮斷の命を受けて前進中、進路左高地より猛烈なる敵の側射を受くるや、特務曹長は部下小隊をして巧に稜線を利用せしめて敵を制壓し中隊の前進を掩護し中隊をして速に目的地に到り本道を退却中の敵に對し多大の損害を與ふることを得せしめたり、爾後現在地を確保して夜を徹し爾後の攻撃を準備するや、川崎小隊は右支點を占領せり午後七時卅分頃約六百の敵中隊の陣地に向ひ夜襲し來り中隊陣地は三方面より激烈なる十字火を被れり、特に右支點に對しては敵の迫撃砲彈猛烈に炸烈し小隊長始め損害多く將に動搖せんとするや川崎特務曹長は自己の負傷を顧みず賺然勇を鼓して卒先陣頭に立ち部下を叱咤激勵敵を猛射せしむ、爾後數回に亘る夜襲も其豪膽と沈着適切なる指揮に依り悉く撃退し陣地を確保せり、特務曹長の決死的奮鬪は克く部下の志氣を鼓舞し中隊陣地を確保して大隊の戰鬪を有利に進展せしめ翌朝の師團主力冷口占領の因をなしたるなり

十字火中に毅然とし　部下を激勵す

歩兵第二十三聯隊第七中隊　陸軍歩兵少尉　中山飛彦

四月十日四三〇高地を占領したる後冷口方面より退却する敵の退路遮斷の爲建昌營北方高地に進出を命ぜらるゝや第一線小隊として激烈なる敵彈下を冒して迅速に所命高地に達し冷口方面より建昌營に向ひ退却中の約二百餘の敵を猛射し多大の損害を與へたり

次で中隊は同高地を確保して夜を徹し爾後の戰鬪を準備するや中隊の左支點を占領す、午後七時以後優勢なる敵數回に亘り中隊陣地を夜襲するに方りては敵の輕迫撃砲及手榴彈の猛射に依り分隊は殆んど戰死或は負傷して小隊の志氣阻喪せんとしたるも、少尉は毫も之に屈することなく沈着剛膽益々部下を叱咤激勵して部下には一齊射撃を命じ、其陣地を固守せしめ自ら小隊全部の手榴彈を集めし之を適時有効に投擲しつゝ十數名の寡少なる兵力を以て毎回敵の企圖を挫折し遂に敵をして其夜襲を斷念せしめたり、少尉の剛膽なる行動及適切なる指揮は中隊をして高地を確保し大隊戰鬪を有利に進展せしめ翌朝に於ける師團主力の冷口占領の因をなせり

倒れる迄　部下を指揮

歩兵第二十三聯隊第七中隊　故陸軍歩兵曹長　新森賢美

四月十日長城占領後中隊は建昌營北方高地に進出して冷口方面より退却する敵の退路を遮斷すべき命を受け該高地に進出して本道方面を陸續として退却する敵を發見するや新森曹長は第一線火線分隊長として其の適切なる指揮に依り敵に多大の損害を與へ、次で中隊が現在地を確保して爾後の行動を準備するに方りては支點分隊として活躍す、午後七時過約六百の敵は中隊の陣地に向ひ夜襲し來ると共に中隊の陣地は三方より敵の集中火を被れるのみならず迫撃砲彈は右支點内に數發連續炸裂し戰場壯烈を極む此の時新森曹長は敢然として少數なる部下分隊を叱咤激勵し、寸尺と雖一度占領せる我陣地を敵に奪はるゝことなきを期し死力を盡して奮戰せり、然れ共奮戰なかばにして敵彈の爲頭部貫銃創を受け譽の戰死を遂げたり、其勇猛果敢決死的奮鬪と壯烈鬼神を泣かしむる最後とは中隊將兵の志氣を鼓舞し中隊をして寡少なる兵力を以て克く數回に亘る優勢なる敵の夜襲を撃退して陣地を確保せしめ大隊戰鬪を有利に進展せしむるの因をなしたり

大事な曲り　黒の厚味が消える

（四十一）　黒頭巾評

白『三十三』と、曲つた。この曲りは大事な所である。こう言ふ所で、打棄てゝ置くと、反對に黒の方から押付けられる。

それを又拋つて置くと、今度は黒（い）と頭を綽ねて來る白（ろ）黒（は）と、盛んに驅迫される。

そうなつては、白も堪つたものではないから、白（い）と伸びると黒は（に）と斜走して雄大な默力を中腹へ張る事になる。

で白（ほ）と綽ねると、黒（へ）白（と）黒（ち）と穩かに伸びてゐても、白には（い）及び（ち）の缺點があつて、甘くない。

だが、白がこう『三十三』と曲つてゐると。

後で、白から（り）（ぬ）と覗くなり（ぬ）と覗けて見るなり色々な手筋が湧出して黒の厚みが忽ち解消する事になる。のみならず、右邊の

左邊の白陣へ遙かに、強大なる聲援を與へるなど、八方へ利かす結果になるが全く天王山と言ひたい所である。

一段綽ねして

白『三十四』も好點である。左下隅は殆んど地になつてゐるから確な手ではある。

だが、この手で、黒（る）と綽ね白（へ）黒（ヽ）白（と）黒（わ）となるのも悪くはないで、若しも、白（か）と入つて來たら黒（よ）と約へ白（た）黒『三十四』白（れ）黒（そ）と二段綽ねして行くから黒の方が厚くて打ち良いのである。

堅固な構へ

黒に『三十四』と尖まれてみると、此の方面は今急を弄するには當らない所であるから、白は轉じて『三十五』と、上隅の黒を攻めて行つた。

それで、黒は『三十六』と尖み付け白『三十七』と立つと交換して『三十八』とブラ下つたものである。

これは、却々堅固な構へであるが、ぢりぢりと、白を押して行かうといふのだ。

こゝで白（つ）と約へても、黒（ヽ）白（な）黒（ヽ）と飛んで行くから、白は餘り大きな地にはならぬのである。

落ち付いた打ち方

で、白は幾何か黒地を削減して置かねばならぬ。

白『三十九』と覗いた。

これは黒四十と粘ぐより外には良い手もない。

それを、黒が若しも『四十二』と約へ、白『四十三』の時黒（な）と約へたりすると白『四十五』黒（ヽ）白『四十』黒（う）白（ヽ）黒『四十四』白『四十二』黒（お）白（ヽ）黒『四十六』白（の）となつて、黒『十二』以下の四子か、或は（う）（お）の二子かを取られる事になるから大變である

三子位の碁になると、まさかそんなヘマな事はして呉れない

四十と堅く粘いた理由である

次に、白『四十一』と尖み、黒『四十二』と出て、白『四十三』と約へ、黒『四十四』と當て、白『四十五』と粘いだ時に黒『四十六』と傳へて、この隅の大石を收めたのである。之も落付いた打ち方である。

圍碁新手合（三局の五）

三段　石塚行誠
三子　鶴岡隆

手	位置
三十三	ヌノ十一
三十四	レノ十五
三十五	チノ三
三十六	ハノ五
三十七	ニノ六
三十八	ロノ五
三十九	ホノ三
四十	ホノ四
四十一	ニノ二
四十二	ヘノ三
四十三	ヘノ二
四十四	ニノ三
四十五	ホノ二
四十六	ハノ二

哥澤の師匠

吉野町一丁目五番地精養軒横の路地を入つた處に哥澤の稽古所が出來た師匠は哥澤芝壽保と云ひ懇切叮嚀に教へるさうである

旭食堂の大擴張

新京日本橋通りに旭ホテルを經營する森重六氏は現在の新京に適應する簡易な大食堂の設備なきに鑑み今度從來旭ホテル附屬として小規模であつた食堂を擴張し什器調度を充實し專門のマチージヤア、和洋食料理人から給仕の小女まですつかり陣容を整へ二十日から華々しく開業したが大ホールには百數十名の宴會も引受られる用意があり殊に地の利を占めてゐるので利用者も日を逐ふて殖へるであらう

海の外から

□樹苗の空中輸送　米國では樹苗移植の第一要件は迅速に在りとし此の頃盛んに飛行機を利用して輸送してゐるが、最近の一例としてレモン苗二萬箇を加州サクラメントからフラフタ州オルランドへ空中輸送して大成功を收めた

□天井紙の張替へ　氣候の變り目毎に行はれる我國の障子張りと似た話が米國にもある。即ち夏季に入るときまつて天井紙の張替へをするが、之は冬季保温設備の準備のためだと

□着陸目標に大赤色燈　此の程米國各地消防署が協議した結果飛行場内の中央地上に五坪大の赤色燈を据付け着陸目標とすることになつたが思ひ付だと大評判。

□尖端的海岸日傘　三十三年型ビーチパラソルがニューヨークに出現した。二本の柄にとりつけたら二人用の普通の陽除け傘となり、柄を疊み込むと婦人用の脱衣室に變ると云ふ重寶なもの

□世界一の大劇場　世界一を誇る大劇場がマンハツタンに出來上つて同地方の御自慢がまた一つ殖えたが、その内部は實に六千人分に余る坐席が何の苦もなく無雜作にとられてあるといふ素晴しさ。

□ゴルフコースに八十呎の金網　米國オレゴン州ポートランドにあるゴルフコースではボールが飛び出さないやうにとその廻りに金網の欄を造らうとになつたが、その高さは[illegible]八十呎あるさ

新刊紹介

△産金公論（六月號）宣言金は命なり、金時局展望、金鑛製錬建設助成金交付取扱要項、助成金交付申請手續書式、本邦に於ける鑛山操業の現況、金銀複本位制是非論、金銀複本位案米國不可能を覺る、東北の産金高、鑛山往來、伊豆金山めぐり探鑛法講座、その他附錄に五・一五事件の起つた所以等一部金三十錢東京神田旅籠町二ノ一産金公論社

入札

六月二十日

△捧掃布 三〇〇本 一七九圓四〇錢 山縣商會
△塵拂毛製 一〇〇本 四四圓五〇錢 同
△卓上硝子 五〇枚 二〇五圓〇〇錢 天野商店
△マッチ 三〇箱 四三圓二〇錢 世美行
△マッチ（徳用大） 一箱 一六圓〇〇錢 同
△クリップ他二點 三點 八四圓〇五錢 烏羽洋行
△感光紙 一函 五二圓五〇錢 水上洋行
△ラフ紙 一五〇〇枚 五一圓〇〇錢 北原紙店
△封筒 一〇〇〇枚 一六圓〇〇錢 滿洲日報社
△圖書 一三點 八五圓六〇錢 大阪屋
△ソーエーカメラ 二臺 二八〇圓〇〇錢 木村洋行
△盆 一〇〇枚 七四圓五〇錢 山縣商會
△物品戸棚 六個 一八〇圓〇〇錢 東洋社
△袋戸棚 四個 一二二圓〇〇錢 品川洋行
△貯藏戸棚 二個 九一圓六〇錢 和祥洋行
△表圖板 一個 一三圓六〇錢 東洋社
△青寫眞燒枠 一個 四三圓〇〇錢 内田洋行
△貯藏活字（日本文用） 一組 四五圓〇〇錢 日本タイプ
△タイポグラフ用ローラー 三本 七九圓〇〇錢 北原紙店
△應接用椅子 一五個 四八圓七五錢 品川洋行
△日本文タイプライター 一臺 二六〇圓〇〇錢 日本タイプ
△製圖器 一組 二〇圓五〇錢 内田洋行
△ゴム印 一二個 二五圓七六錢 東北印書局
△鳩用器具 三三點 六六六圓六二錢 太平商會
△乘馬用拍車 一三組 三三圓五〇錢 日吉商會
△奉天國立圖書館改修工事　未決定工事　入札期日六月二十二日午後四時
△印刷所假廳舍新築工事（草場組） 六五八〇圓
△專賣公署事務所及家屋改築其他　落札（細川組）五七一〇圓九五錢
△新彊屯墾家族住宅構内道路其他工事（草場組） 七八八〇圓
△興安總署新築及改築工事　落札（多田工務店） 三一五〇〇圓
△ホンプ所增築及商人番小屋新築工事（松浦組） 一九九五圓
△大同大街（白山、大同兩公園間）築造工事（滿和公司） 三〇五二圓
△大同公園深井戸掘工事（[illegible]會社）七九二〇圓

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	七〇	チヌ鯛	二六
小鯛	三六	ニベ	一三
スヽキ	二〇	サバ	一八
アジ	一一	星カレ	一八
ヒラメ	一五	マナカツ	五〇
メバル	一三	アブラメ	一八
サヨリ	三〇	タコ	三五
甲イカ	四〇	イセエビ	九〇
車エビ	六〇	カニ	二〇
	四〇		
アワビ	九〇	シジミ	八
カマボコ	二一	シビ切	七五
ヤズ	一六		

變幻黒船往來

日光社映畫上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第八十八回

血の手紙（三）

「愛する余が故國及び日本國の人々よ、かくて余等は破船を巨浪の奔弄にまかせ、數日を海洋に漂ふた。數日は更に十數日と續いた。しかも蝦夷地はおろか無人の島影ひとつのぞみ得ないのだ。月は九月の中旬とおぼしく、北洋に漂ふ余等は夜毎々々肌にしみる寒さをすら覺えた。船腹をうつ潮の音も恐ろしく悲鳴をあげ、飛びかふ怪鳥のなき聲も物すごい。その間も余等は懸命に風浪と戰つた。殊にオロッコ土人の娘、いや余の戀人イサクのけな氣な態度に、余は幾度涙をのんだであらう。かの女はこの度の余の大志とは何のかゝはりもない平和な土人部落の若き乙女だ。しかも日露親善のために身命をとし、この冒險を敢行せる唯一の友となり、望みむなしき船旅を共に續け、一時たりとも絶望の聲を發せず、余の憂鬱に沈めるを、はた長き航海の無聊を常になぐさめ、あるときは舵手となり余を激勵するのであつた。

かくて、破船は、相愛する余等を乘せたまゝ、なほもむなしき旅をつゞけた。幸ひウルップと稱する彼の島をのがれるとき、多分の食料を積込んだがため、破船ながらも巨浪にのまれぬうちは、このさき幾十日の船旅にも堪へ得るのだつた。

とはいふものゝ、未だにエゾ地の北邊の岬すら發見することが出來ぬ。それのみか、船はエゾ地とは反對に、次第に北へ北へと潮流に乘つて押し流されてゆく。余は遂に覺悟した。蝦夷地へ向ふ望みの斷たれたうへは、今は詮なし、せめてカムサッカへなりと漂着せよ。船折られたる破船の船底に伏して海神に祈願した。カムサッカは極北のオロシア領地、そこは故國の人民の住むところである。無事にカムサッカに漂着したらんには、又の日再び蝦夷地へおもむく手段も與へらるゝであらうと、切にそのことを神に祈つたのだ。

船旅は、さらに數日續いた。北へ北へと押流されて、やがて余等は、前方はるかに一つの島影を發見した。余等の狂喜……余は、余の戀人を抱いて再生の歡喜に涙した。幸ひ船は、その名もなき島に吸ひ寄せらるゝ如く進んだ。然し余等はその無人島を仔細に觀察したとき、余の歡喜は恐怖に急變した。すなはち見るその島は全島これ活火山の噴出に過ぎなく、噴煙の天に沖する物凄き地獄の光景を現實に見たる以外に、船を寄する入江、足を印する渺濱一つ見當らず、荒々しき岩礁が、いまにも余等の船を一呑にせんと待構へるが如くそびえ立つてゐるではないか。

余等の喜びは恐怖と變じ、さらに白紙の如きあきらめとなつた。余等は運命のもはやこの日限りなるを知つたので、愛人イサクに告げて死の覺悟を宣した。

彼女は、莞爾として余の宣告を甘受した。余等は全島活火山なる北洋の一無人島の岩せうに刻々近づいてゆく破船の中にすはつて相抱き、眼をつむつて死の勝利の時を待つた。

……愛する余が故國及び日本國の人々よ。かくして一瞬ののちに船とともに余等の五體も粉碎さるることを覺悟し、イサクを抱き眼をとぢ神を念じつゝ暫くあつたが、やがて何事か驚きを胸に感じて眼を開けば、こは如何に、船をのみ船を粉碎せんと待ちかまへたる岩せうに、船はしづかに横づけられてゐるではないか。あまりの意外さに、余は夢かとばかり打驚き、失神せるイサクを船室に靜かに横たへたまゝ舷側に走り寄り、みればその喜びは全くぬか喜びにて、船は無慘にも岩せうに打くだかれ破れたる船腹からは海水が奔流のやうに船内にをどり込み、刻々に船は沈みつゝあるのだ。